

アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名 [金沢大学教育学部附属小学校] 担当教諭 [橋田 真由美]			
児童生徒の学年・参加人数 (複数学年であれば学年別に): [5年37名] [年 名] [年 名]			
実施期間: 2007年6月 ~2008年 3月			
交流: 有 (国名[台湾] 学校名[桃源小学校] 学年[5] 担当教諭[周先生 (Chou)])			
実施教科・時数 (関連させたものをすべて)	教科	単元名	時数
	総合	「アートマイルプロジェクト」	25
	国語	「工夫して発信しよう」	10

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	「文化」「仲良し」「平和」
絵に込めたメッセージ	クラスで描きたいテーマについて話し合い「文化」「仲良し」「平和」の3つのテーマを決めた。テーマごとに2グループづくり、合計6グループでキャンパスを6等分して作成した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	ゲストティーチャを招いて国際交流の導入の話を聞く TV会議の体験	TV会議ではクラスの代表2名が英語で自己紹介をした。交流する国や交流する相手に対して興味を持つことができた。	総合
情報収集	7月	アートマイルのプロジェクトの計画を立てる。 クラスで描きたい絵を話し合い、「平和」「仲良し」「文化」に決まる。描きたいテーマに沿ってどんな絵にしたいかを、グループごとにした絵を考える。詳しく知りたいことは本や、インターネットで調べる	描きたいテーマごとにグループを作ったので意欲的であった。	総合
テーマ検討	9月～11月	TV会議を9月に1回、10月に2回行う。毎回、各グループで自己紹介する子を1人選び、他の子はその子のサポートに入る。 BBSにグループの自己紹介を載せる。相手からも自己紹介の記事が載るようになる 互いの絵について詳しく知りたいときは掲示板を通して相手に尋ねたり	名前は紙に書いたり、クイズは3択にしたりすると答えやすいことに気づいた TV会議では、伝え方、聞き方、計画性の3点でルーブリックをつくり自己評価をした。この評価方法で、発信の工夫や、相手の反応も意識するようになった。また、これからめざす自分たちの姿が明確になった。 どのグループも相手のアイディアを何とか自分たちのグループのアイディに取り込め	総合 国語

		する。 両国から絵に関する1次案が出た後、TV会議を持ち、互いのいいところを取り込んで2次案をつくり、TV会議で最終案を決定した、	うと考えていた。小グループでアイディを検討したので、お互いの思いを取り入れて、「一緒」に絵を制作する意識へとつながった。	
制作	1月 2月	制作段階で相談が曖昧だった所や変更になった所を掲示板で知らせる。	グループごとに描いたので全員が絵の作成に関わることができた。	総合
鑑賞	5月	6年になってクラスがかわってからであったが、台湾から戻ってきた作品を鑑賞した	とても楽しみに見ていた。自分たちの描いて欲しい所が描いてないところもあり、コミュニケーションの難しさも感じた	総合

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したのものから順に1～5まで記入してください。順位のつかないものも記入してください）5つのうちどれかにまる理由も吟味してください

（5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：まったく関連がなかった）

順位	つきたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
	コミュニケーション・スキル	5・4・3・2・1	何度もTV会議を行い、どうすれば相手につわりやすいかを考えながら行えた
	情報活用能力（収集・発信）	5・4・3・2・1	相手の絵の内容についてわからなければ掲示板にかきこむなどしていた。
	人間関係をつくる（交流相手・学級内）	5・4・3・2・1	小グループ内はコミュニケーションが密であった。しかし学級全体としてのまとまりは、絵小グループ化によって意識が高まらなかった。
	協同作業をする力（役割・段取り）	5・4・3・2・1	小グループの単位で行ったので、役割分担はきちんとできた。
	異文化の理解	5・4・3・2・1	相手の民族衣装や踊りをTV会議に見せてもらいわかりやすかったから
	自文化の理解・自分を見つめる	5・4・3・2・1	相手と対になった絵を描くので、相手の文化を比較しながら自分の文化を考えることができた
	表現力	5・4・3・2・1	小グループごとに絵はうまくかけたが、全体的なバランスや構図については全体ではなかなか考えられなかった
	学習を追究する意欲	5・4・3・2・1	小グループにしたので、最後まで相手意識が持続した
	その他（具体的に記入）	5・4・3・2・1	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
<p>このアートマイルプロジェクトによって、子ども達は遠く離れた人と一緒に活動をするという体験をすることができた。「すぐ目の前にいない相手と協力する」ことは、きっとはじめは想像もできなかつたであろう。そして、テレビ会議や掲示板など、ほんの少しの糸口で相手とつながっていることを感じる事ができた。その少しの糸口だったからこそ、子ども達の情報の発する発信や受信の方法を工夫させていたのではないかと考える。また、その受信や発信の工夫の観点をまとめ、ふり返りに用いたことは、子どもが他と伝え合うためのスキルを明確にすることに有効であったと考える。</p> <p>そして、台湾という国を知る中で、日本とのちがいを考え、日本という国を見つめることにつながっていったことは国際交流学習で得た成果の大きな一つであった。</p>	<p>取り組みが長期であることで、子どもの目的意識や相手意識がとだえることもあった。よって、どこかで成功経験や達成感が得られる場面を設け、子どもの気持ちが持続するような手だてが必要であったと考える。</p> <p>また、互いの国の教師同士が綿密なうち合わせをすることが、このプロジェクトの方向を大きく決めると感じた。国によって学習に対するとらえ方も変わってくるので、相手の教師にこちらの意図や計画を知らせたり、こちらから積極的に連絡をとる必要があった。</p> <p>そして、一番大切なのは、何より子ども以上に教師自身が台湾という国を通して、日本という国を見つめ直し、どうすれば相手に伝わるか、ということについて考え直すことであると感じた。</p>

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

<p>私は、今回初めて交流学習という学習に取り組みました。しかも、それが国際交流とあって、これからどう活動していけばよいか、迷ってばかりでした。きっと、子どもも同じような迷いや不安の気持ちがあったと思います。ただ今回、石川県教育センターの清水さんにたくさん協力していただき、最後まで取り組むことができました。</p> <p>そして、この1年間を通じた交流学習は、学級集団づくりそのものであると感じました。これだけ長い時間、みんなで一つの事を考えていくという活動では、考えの共有や、共同して活動することが欠かせません。結果として学級集団の質があがったのかと言われると、私のクラスではそうは言えませんでした。今度このような活動に関わるときには、学級集団づくりという考えももって取り組みたいと思います。そんな可能性をこの交流学習に感じました。</p> <p>今まで本当にありがとうございました。また、このアンケートの提出が大変おそくなってすみませんでした。</p>
